

事業所名

放課後等デイサービスTOMOMO

支援プログラム（参考様式）

作成日

2025年

3月

25日

法人（事業所）理念	○子ども達それぞれが持つ優しさ、純粋さ、ユニークな一面に気づき認める。そして、子ども達自身が自分の価値を信じて生きる力を育む支援に努める。 ○いろいろな人生を歩む子ども達が、私たちに気づかせてくれる素直で真剣な生きる力を共有し、共に歩む伴走者となる。 ○個々の社員の創造性と全員のチームワークでより良い支援を目指す。				
支援方針	作業療法士や言語聴覚士、理学療法士がお子さんのニーズに応じて個別の支援を行います。また、学習に課題のあるお子さんに対して、視知覚や認知機能の評価に基づき個別の学習支援を行います。また、小集団の療育を行う中でADL/IADLの獲得、身体機能の発達、社会性やコミュニケーションの発達を促します。				
営業時間	9時	0分から	18時	0分まで	送迎実施の有無 集団療育あり 個別支援なし
支 援 内 容					
本人支援	健康・生活	お箸操作や着替えなどADLの獲得を促します。また、事業所に到着してから、手洗いなどの周知を図り、自発的に出来るよう支援を行います。生活リズムの安定を目的に、活動を通して覚醒の維持を図り、日中の活動性と睡眠のリズムを整えます。			
	運動・感覚	トランポリンやブランコなどを使用した粗大運動を用いて、身体機能向上や感覚の感じ取りの調整を目指します。また、ハサミ操作やお箸操作など道具を使用した活動を通して、手先の動きの発達を促します。鉛筆操作の評価から書字についての支援も行います。			
	認知・行動	視知覚など認知機能の評価を行い、発達の視点に基づいた機能の獲得や環境調整による学習支援を行います。			
	言語 コミュニケーション	言語聴覚士による評価を元に語彙力やコミュニケーション機能の発達、作業療法士による感覚刺激を媒介にしたを促します。			
	人間関係 社会性	集団療育では、お子さんに応じた理解度で、ルールの把握、ソーシャルスキルを説明し、社会性の発達を促します。また、子ども同士で遊びを立案、実施することをを通して、ソーシャルスキルや社会性の基本を学びます。個別療育では、大人との関わりを通して、社会性の理解を促します。			
家族支援	毎回の集団療育や個別支援を実施した後、保護者にFB(フィードバック)を行い、実施内容を振り返り、目的の共有や成長した点など共有を図ります。家庭の様子を伺いながら、次の目標を定め、支援を行っていきます。	移行支援	関係者連携を必要に応じて行うことで、保育園や幼稚園、学校との連携を図り、TOMOMOでの支援を汎化して行きます。		
地域支援・地域連携	月に一度を目安に、TOMOMOセミナーを開催し、障がい福祉や育児などの学びを共有している。また、一部の療育機関と連携を図り、円滑な支援に繋がることを目指している。	職員の質の向上	TOMOMOセミナーの中で、外部からの講師を招くことで、職員の学びを深めている。また、外部研修として、医療機関や療育機関へ職員の出張を企画している。また、定期的にケース検討会を開催している。		
主な行事等	カヤック遊び(7月)、馬を使った運動療法(通年。土日開催)				